

○日時 令和7年3月12日(水)
14:00~14:30
○場所 北九州市役所本庁舎 4階記者会見室

九州工業大学との共同会見

次第

1. 出席者紹介
2. 市長あいさつ
(北九州市長 武内 和久)
3. 九工大側概要説明
(九州工業大学 学長 みたに 三谷 やすのり 康範)
4. 市側説明
(北九州市長 武内 和久)
5. 質疑応答
6. 写真撮影

配布資料

- ・ 次第
- ・ 配席表
- ・ 北九州市説明資料
- ・ 九州工業大学説明資料
- ・ 令和7年3月5日付 プレスリリース資料

【問合わせ】

産業経済局 未来産業推進課

課長：森永、係長：清水 電話：093-582-2905

地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(J-PEAKS) の採択について

2025年3月12日

九州工業大学 学長 三谷 康範



「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(J-PEAKS)」に採択

国立大学法人
九州工業大学

～日本の研究を牽引する大学として選出～

J-PEAKSとは・・・

日本全体の研究力を向上させ、新たな価値創造を促進していくために、**我が国全体の研究力の発展を牽引する研究大学群の形成**を推進する事業

【申請・採択状況】

| | |
|-------|--------------------------|
| 令和6年度 | 13 大学採択 / 申請 65件 |
| 令和5年度 | 12 大学採択 / 申請 69件 |
| 計 | 25 大学採択 / 申請 134件 |

事業期間 令和7年度から5年間（予定）

事業費 55億円（予定）

J-PEAKS採択25大学一覧



※ 令和7年（2025）1月24日

九州工業大学ビジョン2040

未来を思考する「モノづくり」と「ひとづくり」を推し進め、最先端の技術と人材で世界にインパクトを与えるイノベーション創出大学となる

J-PEAKS事業の概要

- 地球規模の問題解決や社会変革につながる研究を核に**国際卓越拠点**として展開
- 未来思考実証センターを核に**ディープテックの社会実装**を推進
- 社会実装に不可欠な**人材を集積**／経営の分かる**博士人材の育成**

連携大学 北九州市立大学、長崎大学

参画機関 東京大学、東京工業大学(現 東京科学大学)、九州大学、室蘭工業大学、国立研究開発法人情報通信研究機構、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構、マレーシアプトラ大学、キングモンクット大学北バンコク校、台湾科学技術大学、ニューヨーク市立大学、サビエンツア大学 ロレーヌ大学



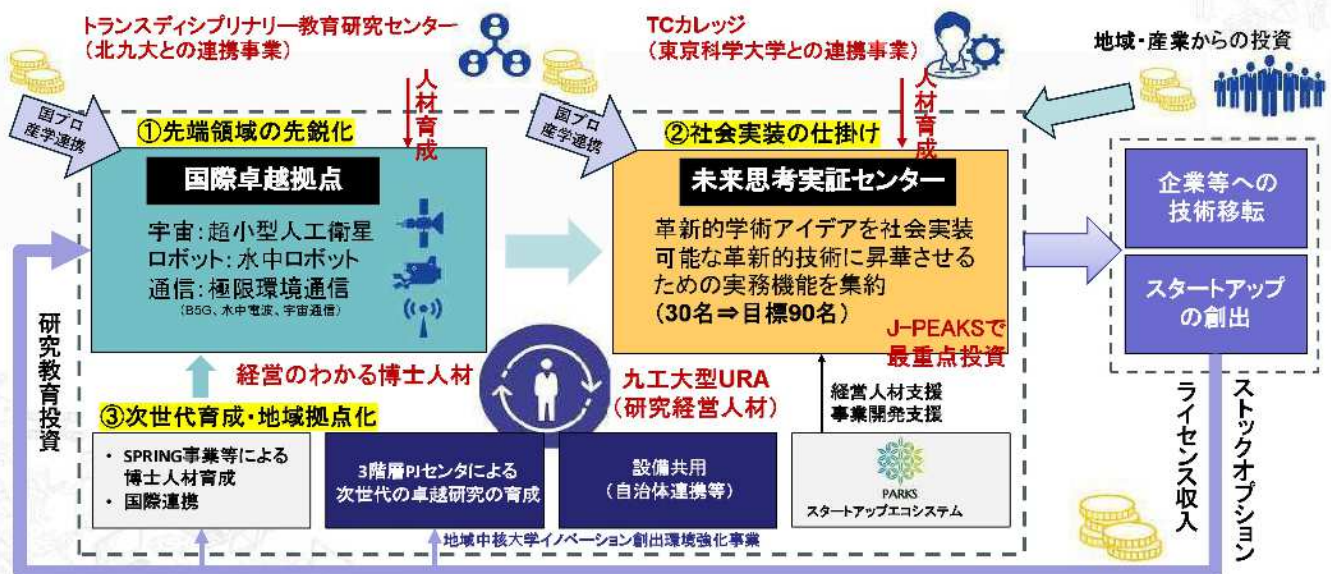
「九工大未来テラス」
スタートアップ支援・社会実装拠点
(戸畑キャンパス内に整備予定)

文部科学省「地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業」に採択

主なKPI：10年間でスタートアップ120社創出
外部資金比率30%の達成

九州工業大学が目指すイノベーション創出大学モデル

研究の社会実装を推進し、次の研究教育の資金を獲得（資金循環モデル）



資金循環モデルの構築: 研究の社会実装→資金獲得→研究投資(装置、人材)→卓越領域の拠点化

- 地球規模の問題解決や社会変革につながる研究を核に世界的拠点として展開
- 強みの生かせる「宇宙」「ロボット」「通信」分野で社会実装を推進
- 戦略的なスクラップ&ビルドと3ステップによる運営資金の自走化

| 超小型人工衛星 | 水中ロボット | 通信 (B5G) |
|--|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ●超小型人工衛星の国内唯一の実証拠点 (JAXAは大型のみ) ●超小型人工衛星の打上数が学術機関の中で7年連続世界一 ●12か国・13機関が利用 | <ul style="list-style-type: none"> ●水中ロボット世界大会2位 (XPRIZE) ●生活支援ロボット世界大会6度優勝 ●スタートアップ起業 (TriOrb) | <ul style="list-style-type: none"> ●日本に3拠点 (九工大、NICT、阪大) のみのB5Gテストベッドを運用 ●水中での電波無線通信を可能とする国際標準規格成立 ●北九州市との共同で高速通信に係る規制緩和2件達成 (国家戦略特区) |
|  <p>革新的宇宙利用実証ラボラトリー</p>  <p>CubeSat (国際標準規格取得)</p> |  <p>AUV無人水中ロボット</p>  <p>HibikinoMusashi</p>  <p>株式会社TriOrb</p> |  <p>水中B5Gシステム</p>  |

アカデミアの革新的アイデアによるイノベーション創出を目指し、新たに社会実装本部を立ち上げ「未来思考実証センター」を設置



※文科省概算要求で設置

九工大が世界的に強みを持つ先端技術群の社会実装を推進

- 革新的新原理を基にした社会ニーズ起点のPoC開発
- 実証実験とサービスモデル構築
- 社会実装を可能とするためのルール整備 (規制対応や標準化)



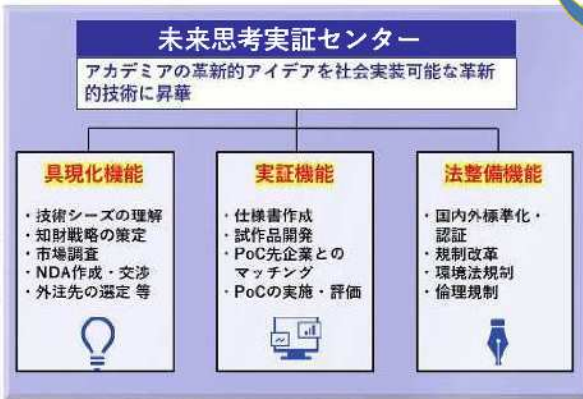
九工大未来テラス (戸畑キャンパスにて整備予定)

社会実装の推進（大学発スタートアップの創出）

大学発スタートアップ創出の加速化のためには、**開発支援（九工大）**と**創業支援（PARKS）**の両輪による支援が必要

開発支援：九工大(J-PEAKS)

創業支援：PARKS（GAPファンド）



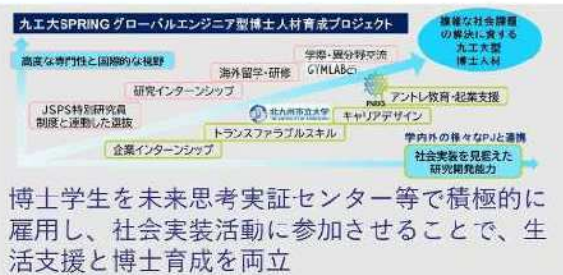
PARKSとは...

九州・沖縄圏域の19大学が大学発スタートアップ創出を加速化するために設立したエコシステム・プラットフォーム。九工大が共同主幹機関として運営



社会実装の推進のための人材獲得・育成

経営のわかる博士人材の育成



技術系職員の活躍推進

東京科学大学が推進する技術系職員の高度化スキーム（TC カレッジ）と連携し、社会実装における技術開発を担える技術職員の育成体制を整備

技術職員数のベンチマーク
九工大77名
東工大110名、農工大46名など



研究開発マネジメント人材育成

九工大型URA

基盤研究から社会実装までの研究の一連を企画・運営できる九工大型URAの育成促進と組織の垣根を越えた研究マネジメントを実施可能な体制を整備



トランジションマネジメント人材育成

北九州市立大学

人文・社会科学とテクノロジーの融合を担う人材を育成するため、トランスディシプリナリー教育研究センターを北九大と連携して整備。



小・中・高校生から社会人まで全世代に対するアントレプレナーシップ教育をPARKSと連携して実施

連携大学・連携機関・自治体・海外提携校との連携を強化し、研究の加速化と社会実装の推進を図る

ひびきのオープン
ファシリティセンター構想



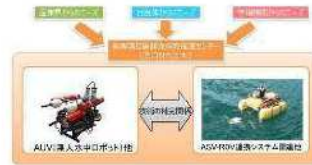
26以上の大学が参画している研究基盤協議会と連携し、北九州市（FAIS）、九州工業大学、北九州市立大学、研究開発型企业等が集積した北九州学術研究都市でオープンファシリティ化を推進する。



実海域技術開発研究推進センター



国内で水中ロボット研究をリードする3機関が連携し、実海域技術開発研究推進センターを設置予定。海洋技術の連続的社会実装を可能とし北部九州を水中ロボットの世界的な社会実装拠点として確立する。



CubeSatサロン



超小型衛星の開発・運用等を相談できる「CubeSatサロン」を2024年7月に共同で開設。大学・企業等に超小型衛星のミッション保証に関するコンサルティング実施する。



プレイヤーの
裾野拡大